



下記のQRコードから
HPへアクセス！
ツイッターやフェイスブック
もチェック(^o^)



Homepage <http://www.i-shunsuke.com>
Mail officeshunsuke2012@gmail.com
Twitter http://twitter.com/shunsuke_ishin
FB <http://www.facebook.com/shunsuke.ishin>

町田・多摩の事務
所にもお気軽にお
立ち寄り下さい！



11. 22大阪府知事・市長選挙にて

いずれも「大阪維新の会」が勝利しました！

「大阪維新の会」対「自民・共産・民主の連合」という前代未聞の戦いにいずれも予想以上の大差で勝つことができました。私自身もこの1カ月間、大阪を往復しながら、選挙に参画し、大阪での改革を肌で感じて来ました。何よりも、身を切る改革など維新の実行力を府・市民が評価して頂いた結果だと思えます。

「大阪維新の会」の実績が高く評価された

大阪は、まず政治家が身を切って、役所改革をし、無駄を見直し、大切な財源を本当に必要な所へ投資してきた。市民に訴え続けて、捨て身で改革を前に進めてきた結果です。国民に負担を求める前に政治家や役所が身を切る覚悟を実行する、大阪で出来た改革を日本全体でやらなければいけないと思っております。

～大阪はどんな身を切る改革をしてきたか～

- ① 市長自らの報酬 42%カット、退職金はゼロ
- ② 府議会定数 20%削減(報酬15%カット)
- ③ 府議報酬 30%カット実現
- ④ 市の職員 30%削減(6152人削減)
- ⑤ 赤字だった市バス運転手給与 960万円を引下げる等単年度26億の赤字を→10億黒字とした
- ⑥ 天下り先だった外部団体を 72 団体→18 団体
- ⑦ 競争性のない随意契約を一掃
- ⑧ 決算ベースで黒字財政を実現 等々

～維新は今～

※他党は反対をしてやらない改革です。

(A) 国会議員年間 1200 万円の文書通信交通滞在費の用途公開を実行しています。

(領収書なし報告なし税金なしの国会議員歳費)

(B) 企業・団体献金を禁止

「政治とお金」の問題を根幹から改革。

しがらみのない政治へ。

住民サービス ① 地下鉄運賃20円値下げ ②水道料金100円値下げ ③高校授業料無償(所得制限付) ④小中全てエアコン ⑥妊婦健診無料 ⑦子供医療無料 ⑧住民票コンビニ交付等

維新の身を切る改革を大阪からオール日本へ

国政では、自民党も民主党も議員の定数を減らす、減らすと言って、事実上、1人も減らさなかった。その上、国会議員1人あたり月額26万円も給与を上げ、公務員人件費は年間総額820億円も上がっています。それでいて国民には、増税負担です。

既政政党に「赤字国債が1030兆円を越える財政再建」等出来るはずがありません。

自民でもない民主でもない第3の道を

自民党に対抗する野党再編の声もありますが、第2の民主党を作り上げることには反対です。例えば、「公務員制度改革」で身分が保障されている公務員を、適正に欠けるものは辞めさせることができるように、公務員の削減など政策を実現したいと思っても、民主党などは、職員の労働組合から大きな支援を受けており、組合に反対されれば改革は実現できません。

最近、大阪では初めて維新が条例をつくり、人事評価が2年連続で最低ランクとなった上、1年かけて研修を受けても改善の見込みのなかった職員2名を職員基本条例に基づき分限免職になりました。

しがらみのない政治へ

これまでの政治は、自民党や民主党などは、業界団体や、労働組合(官公労)などから大きな支援を受けて、当選すると残念ながら国民の方を向かず、業界団体の為に働いてしまう構造になっています。ただ業界を守り、競争を嫌う事で、結果的に新しい産業も育てられず、競争力を失っています。またこの構造が「政治とお金」の問題をつくり、最近では、日本歯科医師連盟(日歯連)から多額の迂回献金を受けた自民党・民主党の議員が問題になりました。

この構造を変えない限り、国民の声が届く政治にはならないと思います。

これまで大阪で橋下徹大阪市長を中心に「維新」対「全ての政党」の構図で勝ち続けて、ダメなことにはダメと言って、改革を進めて来られたのは業界団体などから支援を受けずに、国民1人1人が原動力になっているからです。

かつて米国の黒人リーダーは「沈黙は敗北だ」と訴えました。批判を恐れず、選挙を恐れず「駄目なものには駄目」と声をあげて行かなければ日本の未来はありません。

皆さんと一緒に新しい時代を創らせて下さい。

自民党にまかせておけばいい時代は終わった

かつて自民党の中には、駄目な時には体を張って止める政治家がいましたが、「安保法制」や「原発再稼働」などをみても、かつての信念のある政治家はいなくなりました。なんとなく自民党に任せていればいい、という時代は終わったと思います。今回の安倍政権組閣で河野太郎議員が入閣をされましたが、彼がこれまでHP やメディアで発言して来た「原発再稼働反対」持論は全てクローズしました。自分の政治信条を変えてまで入閣されたということだと思います。

今こそ平成維新を

若い世代に問題を先送りしてきた無責任な政治体制を私たちの世代で歯止めをかけたいと思います。改めて、自分の政治信条を貫かせて頂き、皆様には「なぜ維新なのか」、自民党や民主党と何が違うのかをご理解頂き、駄目な時には駄目だと言える政治家や政党をお育て頂きたくお願い申し上げます。



「原発」も「安保法制」も国民の声が国会に届かない

無責任な政治が続いています

「原発」は、未だ最終処分場も方法も決められず、安全でもなく安価でもない、新たな安全神話を作り出しただけの「原発再稼働」には絶対に反対です。原発事故から4年以上が経過し汚染水はずっと海へ流れだしています。その検証も必要です。福島原発の処理現場には毎日6000人の人達が働いています。既に事故以来国が費やした費用は約5兆円です。廃炉まで最低でも40年かかるということですからどれ程費用がかかるのか計りしれません。原発が一度ゼロになった今、原発に依存せず、再生可能エネルギー(ドイツ 20%に対し日本は僅かに 2.2%)や民間の技術で新しい産業を育てて、世界の環境のリーダーになる日本を創造するべきです。人類の新しい文明への挑戦でもあります。

また、「安保法制」も憲法違反をしてまで、自衛隊を地球上どこでも派兵できる政府案の「安保法制」には反対です。これから政府案は、最高裁にて違憲判決がされる可能性もあります。憲法の範囲内で日本の領空・領域・領土を守る現実的な法整備が必要です。また自衛権の行使がどこまで必要か集団的自衛権の行使など含めた憲法改正の議論を正々堂々とすべきです。引き続き、間違った紛争や戦争に巻き込まれないように声を上げて参ります。

明治以来 140 年続いてきた「中央集権国家」から「地方分権」へ (道州制等)の大きな統治機構改革を実現するために

かつて海外に滞在して私が学んだことは、世界は激しい都市間競争の中で国を押し上げている現実でした。日本は現在 1718 市町村ですが、不交付団体(国から地方交付税交付金を受けていない)は僅か 59 市町村のみです。頑張っても頑張らなくても、市町村が赤字になると地方交付税交付金で国が補填する甘えの構造が競争力を奪い、日本の借金をつくって来ました。地方交付税交付金を廃止して消費税財源などを地方に全面移譲するなど、財源も権限も責任も思い切って地方に移譲して真に自立した強い国家・地方・個人を目指すべきです。日本の市町村が世界の都市と都市間競争が出来る強い地方を実現します。

年金制度を時代にあった積立方式へ

人口が増え続ける時代につくった現在の年金制度(賦課方式)は、世代間をまたいで支える制度なので人口減少・少子高齢化に対応出来ず、すでに破綻していると言っても過言ではありません。私たちは積立方式への移行を提案しています。自分で収めたものを自分で受け取る持続可能な年金制度です。私たちは次の世代に負の遺産を残さないように責任と覚悟をもって取り組みます。

新党「おおさか維新の会」結党へ

この度、「維新の党」を解党し、10月31日に新党「おおさか維新の会」が結党され、私自身、新党に参画することを決断しました。私の政治信条は、維新結党の原点でもある、国民の皆さんの声が届き、政治をもっと身近にするために、業界団体・労働組合(官公労)など、大きな支援団体・支援母体、しがらみを持たない政治です。

俊風会 NEWS 多摩版-Tama City-

ベッドタウンから住んで働ける職住接近都市「住んで良かった」街に

・多摩市を日本一の環境先進都市へ。団地の空室対策と団地問題。

これから建替えをする団地は、環境特別区としてソーラー化や自家発電、緑化など徹底した新エネと省エネで日本一の環境先進都市へ。新エネのベンチャーへの支援も広げるべきと考えます。

団地はこれまでのように定期的に家賃値上げをしないこと、エレベーターのない団地のバリアフリー化。空室はハウスシェアリングやベンチャースタートアップ拠点に。高齢者や障がい者の方々、留学生や外国人滞在者なども住みやすい環境整備に取り組みます。

・物を売る街から時間を売る街へ。

多摩センター駅前パルテノン広場、永山駅前広場、桜ヶ丘駅前ビータ広場などのオープンスペースを活用し、日本中や世界からの大道芸人などパフォーマー呼び、通年エンターテイメントの街へ。物を売る街から時間を売る街づくりを提案します。

・多摩市もオリンピックの舞台になります

自転車競技(ロードレース)は、皇居前をスタートし稲城市役所前を通り、稲城市立病院を通り、多摩市連光寺に入り、連光寺坂を下り多摩ニュータウン通りを右折して関戸橋を渡り、甲州街道に入り右折して稲城大橋に入るコースを男子は16周、女子は7周し最後は武蔵野の森公園でゴールする予定です。

この機に、多摩市を思いきった自転車道路のいき届いた街へ。

- ・1979年8月5日 町田市生 町田市在住
- ・富士幼稚園卒 ・桐蔭学園小・中・高・大卒
- ・中国北京大学留学
- ・中央大学経済学部国際経済学科卒業
- ・会社起業経営 ・維新政治塾一期生卒

伊藤しゅんすけプロフィール

第46回衆議院議員選挙に立候補 東京比例次点。

第47回衆議院議員選挙に立候補(50,836票)東京比例次点。

再び挑戦を続ける!

皆様のお声を是非お聞かせください。返信 FAX は 042-729-7935 までお願い致します。

ご氏名:

TEL:

FAX:

ご住所:

MAIL: